

国立能楽堂 二月

February 2017
National Noh Theatre



国立劇場
開場50周年記念

「繪」上村松園画(東京国立博物館所蔵) Image: TNM Image Archives



月間特集 近代絵画と能

平成29年

【普及公演】2月11日(土・祝)午後1時開演

解説能楽あんない、
松園が描いた能の女達 小林 健二 (国文学研究
資料館教授)

狂言 呂 蓮 野村 万蔵 (和泉流)

能 葵 上 今井 清隆 (金剛流)

【定例公演】2月15日(水)午後1時開演

狂言 鐘の音 茂山 茂 (天蔵流)

能 錦 木 梅若 紀彰 (観世流)

替之型

【企画公演】2月18日(土)午後1時開演

蠟燭の灯りによる
謡講形式の素話
※上演中の入退場は、遠慮願います。
※字幕表示はございません。

能 熊 野他 井上 裕久

能 八 島 香川 靖嗣 (喜多流)

【定例公演】2月24日(金)午後6時30分開演

狂言 酔 薑 山本 則孝 (天蔵流)

能 三井寺 観世 清和 (観世流)

予約開始 = 1月9日(月・祝)午前10時~

窓口販売開始 = 1月10日(火)〈チケット売場 午前10時~午後6時〉
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

〔電話〕国立劇場チケットセンター 〈午前10時~午後6時〉

0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

〔インターネット〕<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)

※詳細は上記ホームページをご覧ください。

●プレイガイド=チケットぴあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/>

e+ (イープラス) [パソコン] <http://eplus.jp/> [ケータイ] <http://eplus.jp/ntj>

定例・普及公演 正面¥4,900・脇正面¥3,200・中正面¥2,700

学生: 脇正面¥2,200・中正面¥1,900

企画公演 正面¥6,300・脇正面¥4,800・中正面¥3,200

学生: 脇正面¥3,400・中正面¥2,200

※定例・普及公演は字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。
詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

国立能楽堂

JR(中央・総武線)千駄ヶ谷駅下車・徒歩5分 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車 A4出口・徒歩5分
東京メトロ(副都心線)北参道駅下車 出口または2 徒歩7分
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3423-1331(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>



普及公演 字幕

2月11日(土・祝)午後1時開演

解説・能楽あんない
松園が描いた能の女達

小林 健二
(国文学研究資料館教授)

狂言「和泉流」

呂 蓮

シテ/出家 野村 万蔵
アド/宿主 野村 万蔵
小アド/女 能村 晶人

葵 上

能「金剛流」
能「観世流」
能「観世流」

シテ/六条御息所の生霊 今井 清隆
ツレ/照日の巫女 今井 清隆
ワキ/横川の小型 福井 克紀
ワキツレ/臣下 矢野 昌平
アイ/左大臣家の男 炭 光太郎

シテ/六条御息所の生霊 今井 清隆
ツレ/照日の巫女 今井 清隆
ワキ/横川の小型 福井 克紀
ワキツレ/臣下 矢野 昌平
アイ/左大臣家の男 炭 光太郎
笛 一 噌 隆之
小鼓 幸 清次郎
大鼓 柿 原 弘和
太鼓 麦 谷 暁夫
後見 宇 高 通成
田村 修 坂本立津朗
工藤 寛 宇高 竜成
元吉 正巳 種田 道一
遠藤 勝實 田中 敏文

終演予定午後3時30分頃

定例公演 字幕

2月15日(水)午後1時開演

狂言「大藏流」

鐘の音

シテ/太郎冠者 茂山 茂
アド/主 茂山 千作
アド/仲敷人 網谷 正美

錦 木

能「観世流」
能「観世流」
能「観世流」

後シテ/男の霊 梅若 紀彰
前ツレ/女の霊 松山 隆之
後ツレ/女の霊 高安 勝久
ワキ/旅僧 丸尾 幸生
ワキツレ/従僧 原 大
ワキツレ/従僧 丸尾 幸生
アイ/所の者 丸石 やすし

後シテ/男の霊 梅若 紀彰
前ツレ/女の霊 松山 隆之
後ツレ/女の霊 高安 勝久
ワキ/旅僧 丸尾 幸生
ワキツレ/従僧 原 大
ワキツレ/従僧 丸尾 幸生
アイ/所の者 丸石 やすし
笛 一 噌 幸弘
小鼓 吉 阪 一郎
大鼓 河村 真之介
太鼓 上 田 慎也
後見 梅若 長左衛門
小田切 康陽
中森健之介 角当 直隆
谷本 健吾 観世 喜正
坂 真太郎 梅若 玄祥
永島 充 山崎 正道

終演予定午後3時30分頃

企画公演

2月18日(土)午後1時開演

蠟燭の灯りによる

おはなし
庶民のたのしみ—謡講—

井上 裕久
(シテ方観世流)

独吟(京観世の節・二段下げて謡)
盛久 サシ・クセ
独吟 井上 裕久
五目謡 吉浪 裕久
熊野 浦部 幸裕

八 島

能「喜多流」
能「喜多流」
能「喜多流」

後シテ/義経の老人 香川 靖嗣
ツレ/男 佐々木 多門
ワキ/旅僧 宝生 欣哉
ワキツレ/従僧 則久 英志
ワキツレ/従僧 館田 善博
アイ/浦人 三宅 右近

後シテ/義経の老人 香川 靖嗣
ツレ/男 佐々木 多門
ワキ/旅僧 宝生 欣哉
ワキツレ/従僧 則久 英志
ワキツレ/従僧 館田 善博
アイ/浦人 三宅 右近
笛 松 田 弘之
小鼓 鶴 澤 洋太郎
大鼓 亀 井 忠雄
後見 中 村 邦生
大島 輝久 長島 茂
金子敬一郎 栗谷 能夫
内田 成信 友枝 昭世
友枝 真也 栗谷 明生

※上演中の入退場はご遠慮願います。
※字幕表示はありません。

定例公演 字幕

2月24日(金)午後6時30分開演

狂言「大藏流」

酔 薑

シテ/酢売り 山本 則孝
アド/薑売り 山本 則秀

三井寺

シテ/千満の母 観世 清和
子方/千満 藤波 重光
ワキ/園城寺住僧 森 常好
ワキツレ/従僧 館田 善博
ワキツレ/従僧 森 常太郎
アイ/夢合せ 山本 東次郎
アイ/能力 山本 則俊
小鼓 大倉 源次郎
大鼓 佃 良勝
後見 木 月 孚行
上 田 公威
藤波 重彦

シテ/千満の母 観世 清和
子方/千満 藤波 重光
ワキ/園城寺住僧 森 常好
ワキツレ/従僧 館田 善博
ワキツレ/従僧 森 常太郎
アイ/夢合せ 山本 東次郎
アイ/能力 山本 則俊
小鼓 大倉 源次郎
大鼓 佃 良勝
後見 木 月 孚行
上 田 公威
藤波 重彦
坂口 貴信 浅見 重好
木月 宣行 高橋 弘
清水 義也 角 寛次郎
角 幸二郎 岡 久広

終演予定午後8時45分頃

《月間特集・近代絵画と能》

昨年より始まりましたシリーズの第二弾です。近代の画家が能や古典文学に着想を得て描いた名画のイメージを逆に補助線として、作品の魅力をお楽しみいただけます。呂蓮 旅の僧は、宿の主人のたつての願いで出家させてやり、「呂蓮坊」と名を授けます。ところがそこへ主人の妻がやってきて…。六条御息所の嘆きと激情
葵上 光源氏の正妻・葵上の重病の原因は、源氏に恋し嫉妬する六条御息所の怨念でした。鬼となつて現れた御息所の生霊と、横川の小型が激しく戦う人気作です。
鐘の音 主人に「金の値」を聞いてくるように命じられた太郎冠者は、勘違いして鎌倉中の寺の「鐘の音」を聞いて回り…。
錦木 陸奥の狭布の里。男は愛する女の家の門前に、求愛の印である錦木を毎夜立て続けます。しかし、女はつれないまま三年が経ち…。錦木伝説を背景に男女の恋の葛藤を描く、世阿弥の佳作です。

蠟燭の灯りの中、幻想的な世界が広がります。江戸時代に京の町衆が楽しんだ「謡講」。屏風の向こうから聞こえる謡に聴覚が研ぎ澄まされます。京観世と呼ばれる独特の節回しによる独吟など、特色ある響きをお楽しみください。
義経が語る源平の合戦
八島 源義経が主役の修羅能。命の危険を冒し海中に落ちた弓矢を拾い上げた「弓流し」など、八島での義経の雄姿や武將達の活躍を描きます。今回は間狂言を「奈須与市語」でご覧いただけます。
絵画作品Ⅱ「速水御舟」「錦木」

酔薑 正しい由緒を賭けて、酢売りと薑(生姜)売りが品名を詠み込んでの秀句合戦を繰り広げます。
我が子を探す母の撞く鐘
三井寺 我が子を探して三井寺までやってきた母。仲秋の名月の下、子への思いを募らせ鐘を撞く「鐘ノ段」は、謡・舞ともに情趣ある場面です。この鐘は「三井の晩鐘」として近江八景の一つに数えられています。
絵画作品Ⅰ「橋本雅邦」「三井寺」
※ 当該絵画作品のうち、「屋島の義経」のみ、公演期間中の企画展「能絵の世界」で展示させていただきます。